

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内いたしますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

- [27770] サイトメガロウイルス核酸定量《TaqManPCR法》

### 受託開始日

- 令和2年12月1日(火)



# サイトメガロウイルス核酸定量《TaqManPCR法》

サイトメガロウイルス (Cytomegalovirus : CMV) はヘルペスウイルス科に属する二本鎖DNAウイルスで、宿主細胞に巨細胞封入体を形成するのが特徴です。

多くの場合、幼少期に不顕性で感染し、潜伏・持続感染により人体内に終生留まります。日本人の抗体保有率は近年低下傾向とはいえ80~90%とされており、ほとんどが成人に至るまでに感染を経ていると考えられていますが、妊娠時の初感染により胎内感染を起こすと先天性CMV感染症により、小頭症、難聴、精神発達遅滞などを生じることがあります。

CMVは健常人に対しては、ほとんど病原性を示すことはありませんが免疫低下および不全状態にある場合に再感染したり、体内に潜伏しているCMVが再活性化されると重篤な病態を引き起こすことがあります。

特に、臓器移植患者で免疫抑制剤投与下などにおけるCMV感染症は極めて重要な合併症であり、さらに同種造血幹細胞移植後のCMV感染症は移植後非再発死亡の主要な原因の一つとされており、嚴重な患者の管理が必要とされています。

当該検査は令和2年8月に検査実施料が新規記載されており、国内外ガイドラインに適合したWHOの標準物質により値付けされたリアルタイムPCR法により血漿中のCMV-DNA量を高感度かつ定量的に測定するもので、免疫低下状態の患者におけるCMV感染管理に有用と考えられます。

## 検査要項

項目コード	27770
検査項目名	サイトメガロウイルス核酸定量《TaqManPCR法》
検体量	EDTA血漿 1.5mL <sup>*1</sup> [容器番号：80番]
保存方法	凍結（-20℃以下）
検査方法	ロシュ／リアルタイムPCR法
基準値	定量結果：1.5 Log IU/mL 未満（定量下限） 増幅反応シグナル：検出せず
報告様式	定量結果：1.5 未満／1.5~6.9／7.0 以上（単位：Log IU/mL） 増幅反応シグナル：検出せず／検出／判定不能
所要日数	3~4日
検査実施料	450点 <sup>*2</sup> （[D023] 微生物核酸同定・定量検査「14」サイトメガロウイルス核酸定量）
判断料	150点（微生物学的検査判断料）
備考	*1：専用採血管で採血後、遠心機にかけ、そのまま凍結してご提出ください。 必ず遺伝子検査の専用検体としてご提出ください（同一検体で遺伝子検査以外の項目との重複依頼は避けてください）。 *2：サイトメガロウイルス感染症の診断または治療効果判定を目的として、臓器移植後もしくは造血幹細胞移植後の患者またはHIV感染者または高度細胞性免疫不全の患者に対し、血液を検体として測定した場合に、本区分の「14」単純疱疹ウイルス・水痘帯状疱疹ウイルス核酸定量の所定点数を準用して算定できます。ただし、高度細胞性免疫不全の患者については、当該検査が必要であった理由について、診療報酬明細書の摘要欄への記載が必要です。

※[04794] サイトメガロウイルス-DNA定量および[06925] ヘルペスウイルス-DNA定量セットにつきましては、令和3年3月31日（水）受付日をもって検査受託を中止させていただきます。詳細は改めてご案内させていただきますが、代替検査といたしまして当該検査をご利用ください。

## 参考文献

森沙耶香, 他：医学と薬学 77 (8) : 1181-1188, 2020.